

弓削商船高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)		授業科目	航海学 2（航海）	
科目基礎情報							
科目番号	4A15			科目区分	専門 / 必修		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	商船学科			対象学年	4		
開設期	前期			週時間数	2		
教科書/教材	航海学（上巻）：辻稔・航海学研究会（成山堂）						
担当教員	高岡 俊輔						
到達目標							
地文航海学に関する知識及び基本算法・理論を修得させる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1 地文航海学の専門用語や略記等が理解できる		詳細に理解している		だいたい理解している		理解していない	
評価項目2 航海算法の計算ができる		すべての航海算法を理解し、計算ができる		基本的な航海算法を理解し、計算ができる		基本的な航海算法について計算ができない	
評価項目3 水路図誌、航路標識等の利用、船位測定法、船位誤差の理解等を含めた地文航法の内容が理解できる		実用レベルでの理解、活用ができる		基本的なレベルでの理解、活用ができる		基本的なレベルでの理解、活用ができない	
学科の到達目標項目との関係							
専門 A1 専門 E1							
教育方法等							
概要	水路図誌と航海計画、船位決定法、外力影響、船位誤差など基本となる知識・使用法、技術を理解できるように努める。						
授業の進め方・方法	板書を中心に授業は行うが、プリント、海図などを利用し、適宜演習を行う。						
注意点	養成施設引当て科目（単位）：航海コース [航海計器(0.1),航路標識(0.2),水路図誌(0.1),潮汐・潮流(0.2),地文航法(0.4)]						
実務経験のある教員による授業科目							
授業の属性・履修上の区分							
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業	
授業計画							
前期		週	授業内容		週ごとの到達目標		
	1stQ	1週	講義内容のガイダンス		講義の進め方や講義内容・評価方法の理解		
		2週	海図、水路図誌等(1)		海図、水路図誌等が理解できる		
		3週	海図、水路図誌等(2)		海図、水路図誌等が理解できる		
		4週	航路標識		航路標識が理解できる		
		5週	船位、位置の線の種類		船位、位置の線が理解できる		
		6週	船位測定法		船位測定法が理解できる		
		7週	避険線		避険線が理解できる		
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	ランニングフィックス		ランニングフィックスが理解できる		
		10週	沿岸航海法		沿岸航海法が理解できる		
		11週	航海計画法		航海計画法が理解できる		
		12週	海図使用問題		海図使用問題が理解できる		
		13週	レーダプロットイング		レーダプロットイングが理解できる		
		14週	船位誤差		船位誤差が理解できる		
		15週	潮流、海流		潮流、海流が理解できる		
		16週					
評価割合							
	試験	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	80	10	0	10	0	0	100
知識の基本的な理解	60	10	0	0	0	0	70
主体的・継続的な学習意欲	20	0	0	10	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0